

新設高等学校（京都市域）基本設計の概要について

平成24年11月6日
 管理部管理課
 指導部高校教育課

京都フレックス学園構想による新設高等学校（京都市域）の基本設計の概要について、下記のとおり報告します。

記

1 学校概要

(1) 京都フレックス学園構想（京都市域）の理念

生徒一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばすため、生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する新しいタイプの教育の推進を目的とし、生徒の多様な志望動機や学習経験など、多様なニーズに対応できる柔軟な教育システムをもつ高校とする。

(2) 規模及び施設計画

クラス数 1学年4クラス程度
 新築建物 校舎：約6,300㎡（RC2階） 体育館：約900㎡（S1階）
 建設予定地 京都市北区小山南大野町

2 校舎配置の基本計画

建設予定地における立地条件などから、次のような配置計画とした。

(1) 配置計画

- ①校舎及び体育館は、敷地西・南側に寄せて建築（隣接する住宅に配慮）
- ②新町通（敷地西）側に、正門等の出入口を設置（生徒の動線や通学路を考慮）
- ③既存施設（体育振興施設）を一部改修し一体的に活用

3 校舎内の平面計画

多様なニーズに応える教育活動を実現する平面計画とした。

(1) 柔軟な教育活動に対応

- ①実習や体験型の授業など、多彩な講座が展開できる施設面の自由さ
- ②講座受講人数の変更に柔軟に対応
- ③ICT、芸術、資格取得講座などに対応

(2) 多様な生徒ニーズに対応

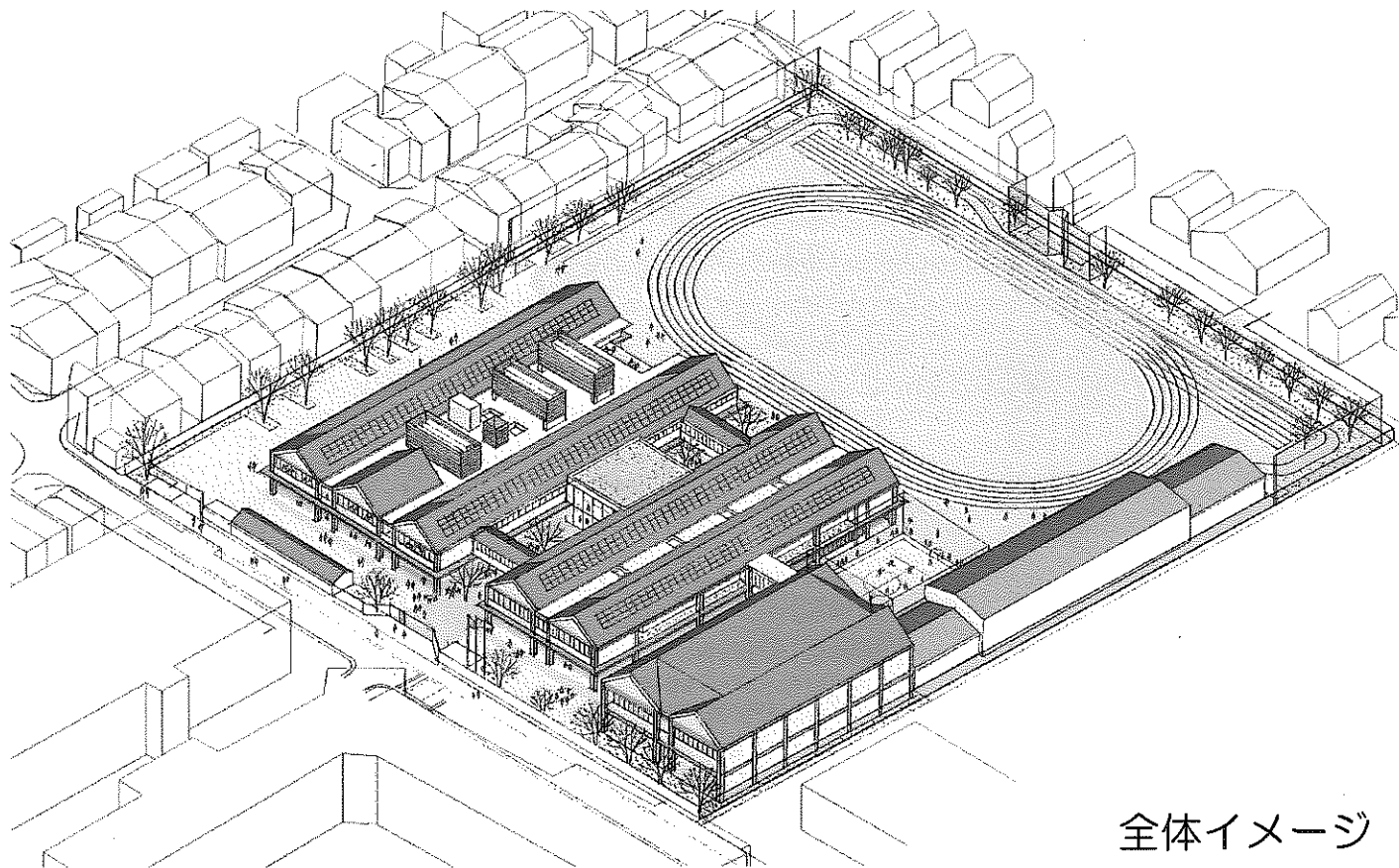
- ①不登校、別室登校、学業不振など様々な経験をもつ生徒や特別な支援の必要な生徒が落ち着いて学べる学習環境
- ②学習、進路等の相談をしやすい環境
- ③早く登校したり、時間待ちをする生徒がくつろげる空間

(3) ”つながる”力が育つ教育環境

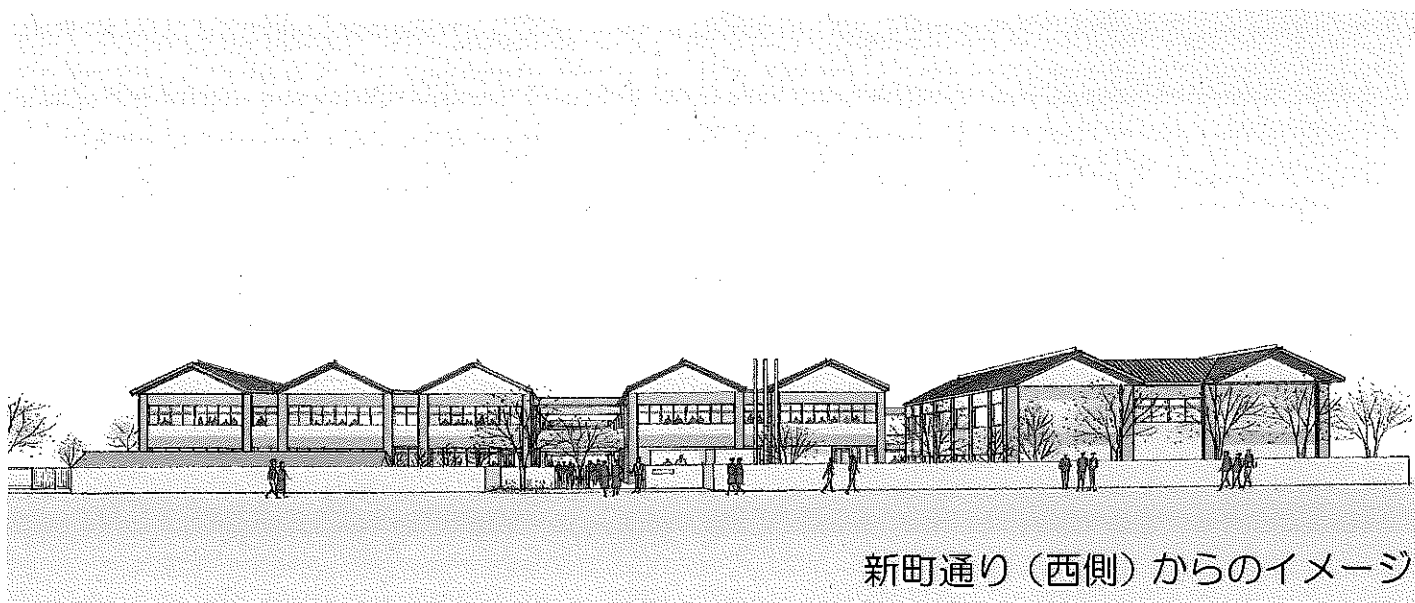
- ①外部機関（企業、NPO、専門学校など）と人的・施設的に連携
- ②地域と密着し、地域住民と交流できる教育活動の展開に対応
- ③社会性や規範意識、コミュニケーション能力を育てる教育環境

4 今後の建設計画

平成24年度	基本設計・実施設計（本年度末までに実施設計を完了予定）
平成25年度	校舎新築工事（工事着手）
平成26年度	校舎新築工事（竣工）
平成27年4月	開校



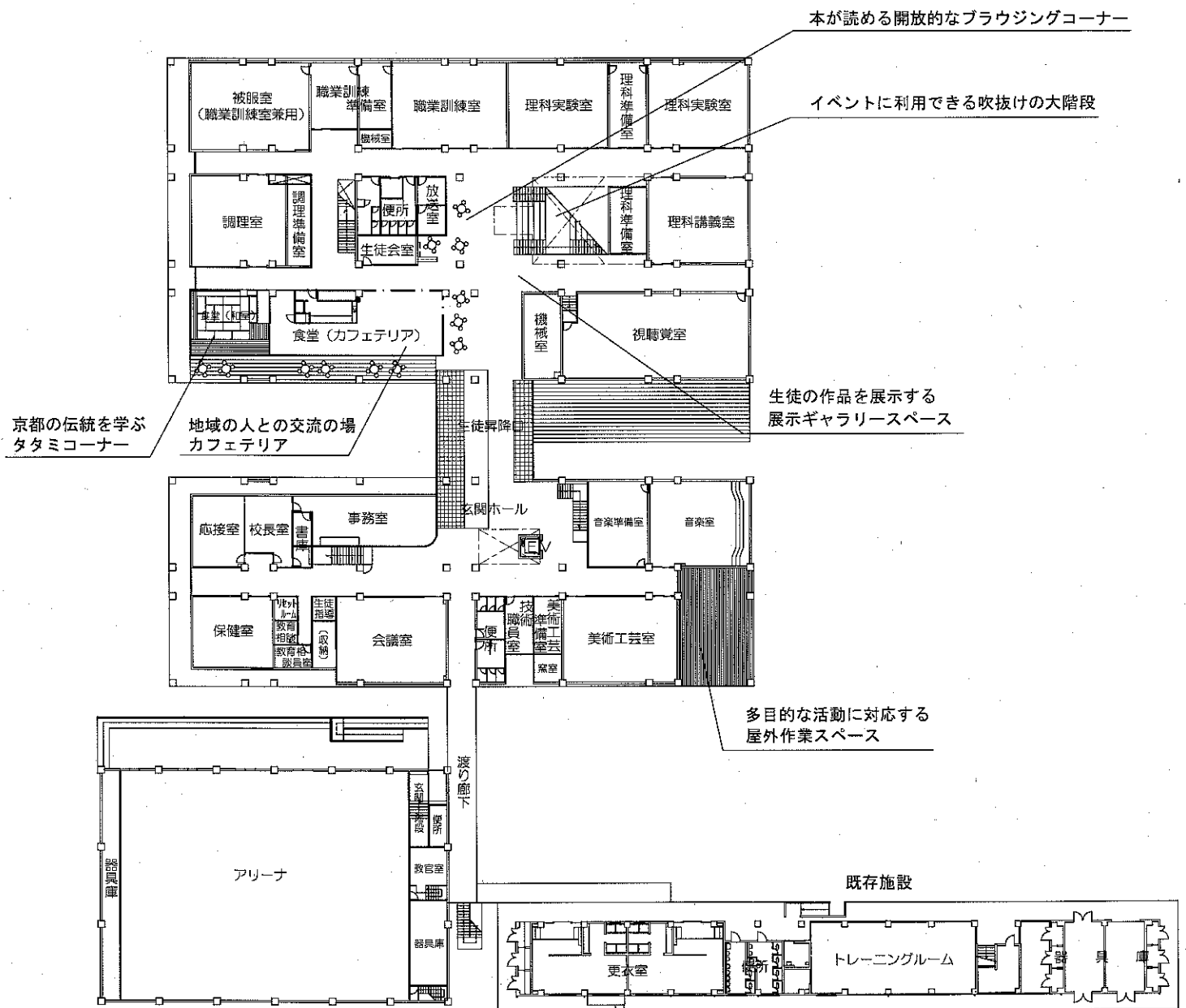
全体イメージ



新町通り（西側）からのイメージ

1階 平面計画

- ・明快でわかりやすく機能的な諸室配置
メインエントランスである生徒昇降口、来客・職員昇降口、管理諸室、特別教室、カフェテリアを配置し、生徒、職員はもちろん、来客や近隣住民の来校に対応できる計画とした。
- ・憩いの場、多様な居場所・地域への発信
生徒ラウンジやブラウジングコーナーを設け、生徒が気軽に立寄れる場を計画した。
生徒のほか、近隣住民も気軽に立寄れる場所にカフェテリアを設け地域の憩いの場となる。
展示コーナーは来客に対し、生徒の学習活動の発表の場となる。



2階 平面計画

■ 2階平面図

- ・生徒の居場所づくり、教師との距離を近づける諸室配置
1年から4年生までの普通教室・伸び教室、多目的教室を集中させ、図書室・情報処理室をまとめて配置した。職員室も普通教室に近い位置に配置し、生徒と職員が近い距離になるよう配置した。

